

# 平成 25 年度 事業報告書

## I 総括

### II 運営・事業に関すること

平成 25 年度における各事業・活動について、その実績を部門ごとに報告いたします。

#### 法人運営部門

##### ■具体的事業活動

##### 1. 各種助成金等による財源確保

- 平成 25 年 5 月 20 日（月）、特定求職者雇用開発助成金（身体障害者 45 歳以上）600,000 円の交付を受けました。
- 平成 25 年 9 月 5 日（木）、特定求職者雇用開発助成金（高齢者）300,000 円の交付を受けました。
- 平成 25 年 11 月 5 日（火）、特定求職者雇用開発助成金（身体障害者 45 歳以上）600,000 円の交付を受けました。

##### 2. 法令順守と説明責任の徹底による透明性の確保

- 資産変更登記完了 平成 25 年 5 月 29 日（水） ・定款の一部変更認可 平成 25 年 6 月 7 日（金）
- 定款の一部変更登記完了 平成 25 年 6 月 11 日（火）

##### 3. 長期的な安定経営を可能とする職員構成の実現

- 職員募集期間 平成 25 年 4 月 10 日（水）～平成 25 年 7 月 1 日（月）応募者 1 人
- 職員採用一次試験（教養試験）平成 25 年 8 月 1 日（木）受験者 1 人
- 職員採用二次試験（小論文・適性検査・面接）平成 25 年 8 月 30 日（金）受験者 1 人

##### 4. 法人の運営に必要な承認・議決

- 会長・副会長会議の開催 7 回（第 42 回～第 48 回）
- 理事会の開催 4 回（第 42 回～第 45 回 議案第 116 号～第 131 号 報告事項第 33 号～第 35 号）
- 評議員会の開催 3 回（第 29 回～第 31 回 議案第 52 号～第 59 号 報告事項第 11 号）

##### 5. 法人運営及び経営のチェック

- 内部監査の実施 1 回
- 外部監査の実施 13 回（川邊拓也税理士事務所）

##### 6. 利用者等からの苦情の解決と事業改善

- 福祉サービスの利用に関する第三者委員会の開催 1 回
- 苦情の申し出件数 8 件 処理結果 解決済み

##### 7. 法人の運営に必要な改選手続き

- 任期満了に伴う評議員の改選  
市内の関係団体等からの推薦を得て、評議員の改選を行いました。（任期：平成 26 年 3 月 1 日から平成 28 年 2 月 29 日まで）
- 欠員補充に伴う理事の選任  
任期中の理事 5 人が異動等により退任となったため、選出団体からの推薦を得て、欠員を補充しました。（任期：平成 26 年 6 月 30 日まで）
- 欠員補充に伴う評議員の選任  
任期中の評議員 4 人が異動等により退任となったため、選出団体からの推薦を得て、欠員を補充しました。（任期：平成 26 年 2 月 28 日まで）

##### 8. 規程等の制定及び改正

- 定款の一部変更 2 回 ・介護保険関係運営規程の一部改正 5 件 ・障がい者居宅介護事業所運営規程の一部改正 2 件
- 臨時的任用職員就業規則の一部改正 1 件 ・事業関係実施要綱の一部改正 2 件 ・地域福祉事業関係実施要綱の制定 6 件

##### 9. 入札の実施

###### ①地域福祉活動車両購入入札

実施年月日 平成 25 年 4 月 30 日（火） 入札区分 指名競争 参加業者 1 社 落札業者 福岡トヨペット株式会社 飯塚店  
予定価格 2,595,827 円（税込み） 落札額 2,582,727 円（税込み） 落札率 99.5%

###### ②初盆供物購入入札

実施年月日 平成 25 年 6 月 25 日（火） 入札区分 一般競争 参加業者 6 社 落札業者 株式会社吉浦コーポレーション  
予定価格 1,260 円（税込み） 落札額 993 円（税込み） 落札率 78.8%

###### ③平成 26 年度配食サービス弁当容器・汁カップ納入業者選定入札

実施年月日 平成 25 年 12 月 17 日（火） 入札区分 一般競争 参加業者 2 社 落札業者 株式会社マツレン  
予定価格 823,000 円（税抜き） 落札額 680,200 円（税抜き） 落札率 82.6%

###### ④平成 26 年度広報紙印刷業者者選定入札

実施年月日 平成 26 年 1 月 17 日（金） 入札区分 一般競争 参加業者 4 社 落札業者 筑豊印刷株式会社  
予定価格 4,389,840 円（税抜き） 落札額 2,982,000 円（税抜き） 落札率 67.9%

##### 10. その他の事業

- 研修・連絡会への参加 89 の研修会等に延べ 152 人の役職員が参加しました。
- 寄附 件数 276 件 金額 4,450,468 円  
内訳 ①香典返し 238 件 4,112,000 円  
(稲築地区 95 件 1,979,000 円 碓井地区 25 件 338,000 円 山田地区 69 件 990,000 円 嘉穂地区 49 件 805,000 円)  
②初盆返し 13 件 133,000 円  
(稲築地区 9 件 83,000 円 碓井地区 1 件 10,000 円 山田地区 3 件 40,000 円 嘉穂地区 0 件)

- ③一般寄附 22件 205,468円  
(稲築地区21件 195,468円 碓井地区0件 山田地区1件 10,000円 嘉穂地区0件)
- ④物品寄附 3件  
(稲築地区2件〔寄附金付き年賀はがき42枚、切手25枚・収入印紙5枚〕  
碓井地区1件〔年賀はがき16枚〕 山田地区0件 嘉穂地区0件)

**(3)車両の管理** 総台数35台(普通7台 軽27台 大型1台) 総運行回数9,197回 総走行距離166,143km 総給油量14,251.46ℓ  
車検を受けた台数14台 タイヤ交換44本(普通24本、スタッドレス20本)

- 詳細内訳 ①法人運営 9台(普通5台 軽4台) 運行回数2,270回 走行距離43,814km 給油量3,850.80ℓ
- ②日中一時 1台(軽1台) 運行回数222回 走行距離1,623km 給油量175.00ℓ
  - ③居宅介護 3台(軽3台) 運行回数700回 走行距離17,110km 給油量1,210.35ℓ
  - ④北訪問 5台(軽5台) 運行回数1,626回 走行距離27,425km 給油量2,010.63ℓ
  - ⑤南訪問 6台(軽6台) 運行回数1,813回 走行距離27,223km 給油量1,977.62ℓ
  - ⑥よかところ 1台(軽1台) 運行回数236回 走行距離2,498km 給油量269.90ℓ
  - ⑦山田配食 3台(軽3台) 運行回数762回 走行距離12,283km 給油量1,014.00ℓ
  - ⑧碓井・嘉穂配食 4台(軽4台) 運行回数917回 走行距離21,424km 給油量1,883.05ℓ
  - ⑨嘉穂デイ 3台(普通2台 大型1台) 運行回数651回 走行距離12,743km 給油量1,860.11ℓ

**(4)サルビアパーク敷地内に設置している掲示板の管理**

嘉麻市文化スポーツ振興公社 サルビアパーク敷地内に設置している掲示板の有効活用と清掃等管理(12回)に努めました。

## 地域福祉活動推進部門

### ■重点事項

**(1)地域の個別ニーズが把握できる仕組みづくりと支援につなぐ取り組みの強化**

本会は住民の事務局と言われるように、住民の方々とともに福祉のまちづくりを推進していくことをめざしています。そのため、その活動の母体となる地域福祉部や福祉推進員の設置を行政区単位にすすめていますが、現状は、稲築地区に21の地域福祉部と27人の福祉推進員が活動するにとどまっています。また、福祉推進員の定例会やブロック別懇談会などを開催し、情報と課題の共有化に努めていますが、地域福祉部毎の活動になると、ふれあい・いきいきサロンや季節行事の開催などが中心で、地域の個別ニーズの把握、解決に向けた協議、そして、住民の方々による活動実施という取り組みについては十分確立できていない状況です。その理由としては、地域福祉部の中で、個別ニーズに関する情報が共有できなかったり、それを調整する場がなかったりすることが考えられるため、今後は、その部分の見直しについて、働きかけを行います。

また、地域福祉部等が未設置の碓井、山田、嘉穂地区の中で、設置を検討中の行政区については、稲築地区の状況の説明、情報提供を行いました。今年度においては設置に至りませんでした。今後もサポートを継続するとともに、他の行政区においても住民懇談会の開催等をつうじて、その必要性を啓発していきます。

さらに、個別ニーズの対応については、抱える課題が複雑になればなるほど、関係機関との連携が必要となりますので、その意味では、特に行政が設置する福祉関係の対策会議のメンバーに加わることにより、情報交換を含めて協働での支援につながると考えますので、今後行政に働きかけて参ります。

**(2)市民の権利が擁護できる体制の整備**

地域においては、一人暮らしや認知症の高齢者が増加する中で、様々な手口による消費者被害、さらには、親族による財産の侵害や虐待事案も増えてきています。また、知的障がいなどを持つ方々においては、同様の被害のほかにも、親亡き後の問題などがあり、今まさに、その人がその人らしく暮らしていくための権利を擁護していくことが必要となっています。近年は、親族が後見人になる割合よりも弁護士や司法書士などの第三者が後見人になる割合が高くなってきていることで、担い手不足という問題も表面化してきているため、市民が市民の感覚を生かして後見活動を担う、市民後見人に期待が寄せられています。このような中で、今年度は嘉麻市からの委託を受けて、第一期市民後見人養成講座をはじめ開講しました。講座は12日間で26コマを学ぶ(31時間40分)ハードな内容で、26人が受講を修了しました。この内10人が支援員として活動することを希望されたため、面接試験を経て5人を採用し、新年度から活動してもらうことにいたしました。

また、平成26年1月からは本会独自の地域福祉権利擁護事業を立ち上げました。その理由は、県社協事業である日常生活自立支援事業は身体障がい者の方は利用できなかったり、また、利用料への負担を感じている方がおられたり、契約からサービス実施までに時間がかかるなど、日頃の活動の中で疑問や矛盾を感じていたため、事業スタート2か月で6名(財産保管サービス1名、金銭管理・生活支援サービス5名)の利用につながりました。当面は、県社協事業と並行しながらの実施となりますが、徐々にその比重を本会の独自事業に移していくことにしています。

さらには、現行の成年後見制度は、法人が第三者後見人として後見活動を担うことが可能であるため、その体制整備の一環として法人後見受任の可否等について審議する運営審議会の立ち上げ準備を進めたほか、成年後見制度への移行や利用が必要な方については、ご本人及びご家族等への制度説明、さらには申立て手続きに関する情報提供及びフォロー等を行うなど、成年後見制度の利用支援に努めました。

**(3)アウトリーチに基づく地域の生活課題の把握と課題の顕在化、それに基づく事業化**

本会には、日々様々なかたちで(電話、相談事業、訪問、関係機関・団体を介してなど)相談ごとが寄せられますので、その方の思いに寄り添い、かつ、その実情把握と課題を整理し、次の行動につなげていくため、まずは訪問(内容にもよる)をするようにしています。

民生委員を介しては、行政の緊急通報システムを申請したけれども要件(脳血管疾患等を有する)に該当せず、いざという時の連絡に不安を抱えている一人暮らし高齢者がおられるとの相談がありました。この方は、自宅で倒れた時に携帯電話が操作できず、救急車を呼ぶことができなかったそうです。このように、行政の緊急通報システムには該当しないけれども、同じように不安を抱えている高齢者はおられるため、その方々の不安の解消につながる、本会独自の緊急通報システム設置事業を新年度から実施できるよう準備いたしました。

また、本会の紙おむつ宅配事業の利用者を訪問した際には、介護や紙おむつに関してではなく、奥様の入院で、金融機関からの金銭の出し入れができなくなったという相談を受けました。ご主人には判断能力の低下はなく、歩行の不安や手の震えという身体的理由で金融機関を利用できないという状況ですので、認知症などの判断能力の不十分な方を対象とする日常生活自立支援事業は利用できません。平成26年1月にスタートした本会独自の地域福祉権利擁護は、この相談もひとつのきっかけとなっています。

#### (4)災害時に機動的に動ける態勢づくり

地球温暖化の影響などもあって、近年は大型化した台風が頻回に発生するようになり、昨年8月と9月には、島根県（津和野町・浜田市・江津市）山口県（萩市須佐地区）において甚大な水害が発生しました。そこで本会は、津和野町、浜田市、萩市（須佐地区）の社会福祉協議会が立ち上げた災害ボランティアセンター（以下「センター」という。）を支援するため、延べ33日、25人の職員が支援に入りました。また、8月28日（水）にはボランティアバスを仕立てて、応募のあった34人のボランティアとともに萩市須佐地区に入り、土砂の除去作業等に従事しました。

今回、実際に被災地に入り、センターの一員として業務に従事できたことで、センターの運営を具体的にイメージできるようになったほか、事前に準備しておかなければならない事柄も整理することができました。その一環として、平成25年12月24日（火）には、嘉麻市と本会が「災害ボランティアセンターの設置等に関する協定」を結び、センターの設置場所や業務内容、費用負担などの基本的な事柄を取り決めることができました。また、この協定をつうじて、災害時に行政の災害対策本部と本会のセンターがその役割を果たすためには、平時からの連携と情報交換が必要であるとの共通認識ができ、新年度からは、行政の防災会議のメンバーに本会も加わることになったほか、災害時に避難支援の申し出をされた方々の情報も共有していくことになっています。

#### (5)今日的課題へチャレンジするための調査・研究

今年度も、ひきこもりの状態にあるご本人及びそのご家族を支援するため、家族の集いを9回開催したほか、ひきこもり経験のある当事者等を講師に招いて、勉強会も3回開催しました。集いには4家族5人が参加され、お互いの苦しみや思いを語り合う中で気心もつうじあい、ご家族のストレス発散の場となっています。しかし、気持ちの中には、ご本人との接し方に対する戸惑い、この状態がいつまで続くのかという将来への不安、状況を少しでも改善するにはどうしたらいいのかという切なる思いがあるため、次への一步を踏み出す必要性を感じる一年となりました。

ご家族には「まずは、本人が無理せず、外に出られるような場（機会）があれば」との共通の思いがあるため、新年度は、ご家族の方々とともにフリースペースの開設に向けて取り組むことにしています。平成26年3月14日（金）には、その事前準備として、空き店舗を借用して不登校などの子どもの居場所をつくり運営している「ハッピービバーク」を職員3人で視察したほか、親の会「ほっとケーキ」の立ち上げ経過や活動内容等についても伺っていますので、今後の活動につなげていきます。

### ■具体的事業活動

#### 1. 会員を増やしていくために

##### (1)会員の募集及び拡充

###### ①会員加入状況

会員数 1,420件 会費額 1,653,000円(個人会員 1,309件 1,365,000円 法人・団体会員 17件 194,000円  
在宅福祉サービス利用会員<地域支えあい事業 24件 24,000円 在宅介護者の集い 7件 7,000円>  
福祉機器利用会員 60件 60,000円 ホームレス支援会員 0件 寄ってこハウス利用会員 0件 空き家管理サービス利用会員 3件 3,000円)

###### ②会員募集チラシの配布

本会の事業をわかりやすくまとめたチラシを作成し、福祉推進員（稲築地区）、会員募集世話人（山田地区）をつうじて配布しました。また、碓井地区及び嘉穂地区については、行政区をつうじて各世帯に配布しました。

###### ③山田地区会員募集世話人会の開催 1回 延べ参加者 20人

###### ④事業パンフレットの活用をつうじた会員の拡充（地域の会合等での説明）

稲築地区 ・山野第一行政区の組長会において、事業パンフレット配布し、会員の加入をお願いしました。平成25年6月12日（水）  
・鴨生第一ふれあい・いきいきサロンにおいて、事業パンフレットをもとに内容を説明しました。平成25年8月23日（金）  
・山野第一ふれあい・いきいきサロンにおいて、事業パンフレットをもとに内容を説明しました。平成25年11月27日（木）  
嘉穂地区 ・嘉穂地区民生委員児童委員協議会定例会において、新任民生委員の方にも本会活動について理解を深めてもらうため、事業パンフレットを配布し、内容を説明しました。平成26年1月16日（木）

###### ⑤会員募集啓発チラシをつうじた会員加入

加入件数 8件（稲築地区 2件 碓井地区 0件 山田地区 0件 嘉穂地区 6件）

###### ⑥平成25年度カレンダーの配布をつうじた会員の募集

・本会の法律相談や心配ごと相談等の日程、会員の募集等について記載したカレンダーを全戸に配布しました。また、市内の社会福祉施設、関係機関に配布しました。平成25年4月1日（月）  
このカレンダーについては、サイズが大きく使いやすいので、来年度もぜひ作って配布してほしい。色等については今のままでよく、特に希望はないとの声が寄せられました。平成26年1月28日（火）

###### ⑦社協カレンダーの配布をつうじた会員の拡充（地域の会合等での説明）

稲築地区 ・本会の障がい児日中一時支援事業の利用世帯の方が会員に加入されました。（10口）平成25年4月5日（金）  
山田地区 ・カレンダーを見られて心配ごと相談についての問い合わせがあり、内容を伺うと法律相談での対応が必要でしたので受け付けました。  
平成25年4月9日（火）

###### ⑧返信用ハガキによる会員加入

加入件数 2件（稲築地区 0件 碓井地区 0件 山田地区 0件 嘉穂地区 2件）

#### 2. 福祉情報を収集・発信するために

##### (1)広報紙による情報発信

①広報紙「えがお」の発行 発行回数 12回（No.86～No.97） 発行部数 18,200部/1回（フルカラー） 全戸配布

###### ②広報紙に関するアンケート調査の実施

・調査対象者 市内社会福祉施設 26カ所 ・調査期間 平成25年6月24日（月）～平成25年8月16日（金）  
・調査方法 職員が施設を訪問して調査票を配布し、後日faxにて回収した。・回収率 73.1%  
・調査結果 19施設から回答があり、紙や電子媒体を利用して、様々な広報活動が行われていることがわかりました。

###### ③福祉施設等広報担当広報紙づくり講座の開催

開催年月日 平成25年11月8日（金） 参加者数/9人 テーマ/「宮若生活」に学ぶ広報活動  
講師/宮若市役所 総合政策課 秘書広報係 林 慎治 氏 会場/稲築住民センター

###### ④広報紙「えがお」年間集約版の発行

平成25年度の広報紙（No.86～No.97）を一冊にまとめた集約版を平成26年3月に発行しました。

##### (2)事業パンフレットによる情報発信

関係団体の会合、ふれあい・いきいきサロン等で事業パンフレットを配布し、概要を説明しました。

##### (3)ホームページの運用

運用状況 アクセス件数 4,219件 更新回数 494回

###### ①ブログ、SNS（ソーシャルネットワークサービス）を使った情報発信

ブログによる情報発信件数 462件

SNSによる情報発信更新件数 77 件

## ②ホームページに関する職員勉強会の開催

開催年月日 平成 25 年 6 月 29 日 (土) 参加者数/15 人 内容/ホームページの基本について、実践「ホームページを作ってみよう」  
指導/地域福祉係職員 木原 靖世 会場/稲築住民センター2階会議室

## 3. いろいろな困りごとの相談に応じるために

### (1) 法律相談事業

①弁護士による相談窓口の開設 相談件数 61 件(稲築地区 26 件 碓井地区 5 件 山田地区 23 件 嘉穂地区 7 件)

### (2) 心配ごと相談事業

①心配ごと相談員によるよろず相談窓口の開設 相談件数 29 件(稲築地区 17 件 碓井地区 2 件 山田地区 5 件 嘉穂地区 5 件)

②アウトリーチに基づく相談者及び利用者のニーズ把握と総合的な支援活動の展開

稲築地区 ・心配ごと相談にて、子どもがひきこもりがちであると相談された方を訪問し、詳しい話を伺いました。平成 25 年 6 月 14 日 (金)

嘉穂地区 ・ひきこもりの件で相談のあった方を訪問し、詳しい内容を伺い、社協事業についても説明しました。平成 25 年 4 月 10 日 (水)

③心配ごと相談員研修会の開催

開催年月日 平成 25 年 8 月 27 日 (火) 参加者数/5 人 テーマ/「心配ごと相談の意義と役割」

講師/福岡県立大学 准教授 臨床心理士 吉岡 和子 氏 会場/稲築住民センター2階会議室

(3) 一般相談 相談件数 368 件(稲築地区 128 件 碓井地区 55 件 山田地区 80 件 嘉穂地区 39 件 市外 66 件)

## 4. みんなの権利が擁護できるように

### (1) 成年後見制度等に関する学習機会の提供

#### ①市民後見人養成講座の開催

第 1 回 開催年月日 平成 25 年 11 月 26 日 (火) 参加者数/27 人

内容/開講式・オリエンテーション 1. 成年後見制度の基礎 (1) 成年後見制度の基本的理解

講師/北九州市権利擁護・市民後見センターらいと 所長(弁護士) 河原 一雅 氏

第 2 回 開催年月日 平成 25 年 12 月 3 日 (火) 参加者数/26 人

内容/(2) 法定後見制度のしくみ (3) 任意後見制度のしくみ

講師/福岡県弁護士会 弁護士 松尾 朋 氏 飯塚公証人役場 公証人 田村 和志 氏

第 3 回 開催年月日 平成 25 年 12 月 10 日 (火) 参加者数/23 人

内容/(4) 成年後見制度と市町村責任 (5) 日常生活自立支援事業の理解

講師/嘉麻市高齢者介護課介護予防係長(嘉麻市地域包括支援センター) 金原 憲子 氏 嘉麻市社会福祉協議会 事務局次長 渡辺 進

第 4 回 開催年月日 平成 25 年 12 月 17 日 (火) 参加者数/25 人

内容/2. 市民後見の基礎 (1) 市民後見活動の実際 (2) 市民後見概論① (3) 市民後見概論②

講師/北九州市社会福祉協議会 権利擁護・市民後見センター「らいと」次長 杉本 真奈美 氏

支援員 大坪 義弘 氏 支援員 松野 浩美 氏

リーガルサポートふくおか 加藤 丈雄 氏

第 5 回 開催年月日 平成 25 年 12 月 24 日 (火) 参加者数/26 人

内容/3. 後見業務の実際 (1) 後見開始から終了までの実務 (2) 財産管理と身上監護の実務

講師/リーガルサポートふくおか 加藤 丈雄 氏

第 6 回 開催年月日 平成 26 年 1 月 7 日 (火) 参加者数/26 人

内容/4. 民法その他の法律の基礎 (1) 民法①財産法 (2) 民法②家族法 (3) 消費者被害の実際と消費者契約法

講師/福岡県弁護士会 弁護士 松尾 朋 氏 筑豊合同法律事務所 弁護士 藤岡 孝司 氏

第 7 回 開催年月日 平成 26 年 1 月 14 日 (火) 参加者数/24 人

内容/5. 対象者の理解 (1) 認知症高齢者の理解 (2) 精神障がい者の理解 (3) 知的障がい者の理解

講師/医療法昌和会見立病院 精神科認定看護師 知識 裕子 氏 医療法昌和会見立病院 看護師 熊本 勝治 氏

障がい者相談支援センター「たいよう」 石本 糸江 氏

第 8 回 開催年月日 平成 26 年 1 月 21 日 (火) 参加者数/26 人

内容/6. 対人援助の基礎 (1) 援助活動の意義① (2) 援助活動の意義②

講師/グループホーム・ケアホームぼくらの家 施設長 山本 真理子 氏

第 9 回 開催年月日 平成 26 年 1 月 28 日 (火) 参加者数/24 人

内容/7. 関連する法律・制度 (1) 虐待防止法の理解 (2) 高齢者を支援するためのしくみ

講師/筑豊合同法律事務所 弁護士 藤岡 孝司 氏 嘉麻市高齢者介護課介護予防係 係長 金原 憲子 氏

第 10 回 開催年月日 平成 26 年 2 月 4 日 (火) 参加者数/24 人

内容/(3) 障がい者を支援するためのしくみ (4) 生活保護制度の理解

講師/嘉麻市社会福祉課障害福祉係 係長 田中 洋一 氏 嘉麻市保護課 課長 山田 昌郎 氏

第 11 回 開催年月日 平成 26 年 2 月 18 日 (火) 参加者数/25 人

内容/(5) 健康保険・年金制度の理解 8. 家庭裁判所の役割

講師/嘉麻市市民課 課長補佐 平川 俊昭 氏 福岡家庭裁判所飯塚支部裁判所書記官 堀 敦典 氏

第 12 回 開催年月日 平成 26 年 2 月 25 日 (火) 参加者数/24 人

内容/9. 後見人の心得 10. 研修の振り返り 閉講式

講師/福岡弁護士会 弁護士 梶田 晃久 氏 嘉麻市社会福祉協議会 事務局長 木山 淳一

カリキュラム及び時間/26 コマ 31 時間 40 分 受講者/27 人 受講修了者/26 人

#### ②みんなの力で地域を支え合うフォーラムの開催(嘉麻市行政との共催事業)

開催年月日 平成 26 年 3 月 23 日 (日) 参加者数 147 人 テーマ ~認知症になっても 障がいがあっても みんないるから大丈夫~

・講演 「埼玉県行田市における包括的虐待防止の取り組みについて」 ~地域ぐるみの支え合い活動で虐待予防~

講師/埼玉県行田市保健福祉部福祉課 トータルサポート推進担当 保健師 臨床心理士 野村 政子 氏

・交流会 パネラー 野村 政子 氏

上田 晴男 氏 (全国権利擁護支援ネットワーク事務局長・大阪府堺市権利擁護サポートセンター長)

中島 暁子 氏 (嘉麻市認知症サポーターキャラバンメイト)

村上 拓 氏 (特定非営利活動法人ハートフルボイス代表 精神保健福祉士)

木山 淳一 (嘉麻市社会福祉協議会事務局長)

進行役 松澤 秀樹 氏 (嘉麻市認知症地域支援推進員)

・会場/なつき文化ホール

## 5. 低所得等の方々に資金を貸し付け、自立を支援するために

### (1) 生活福祉資金貸付事業

#### ① 貸付・償還等に関する相談

相談件数 98 件 (稲築地区 35 件 碓井地区 17 件 山田地区 28 件 嘉穂地区 10 件 その他 8 件)  
貸付件数 16 件 (稲築地区 7 件 碓井地区 2 件 山田地区 6 件 嘉穂地区 1 件)  
貸付資金種類 稲築地区 (緊急小口資金 1 件 教育支援費 2 件 就学支度費 4 件)  
碓井地区 (福祉費 1 件 就学支度費 1 件)  
山田地区 (緊急小口資金 2 件 教育支援費 1 件 就学支度費 3 件)  
嘉穂地区 (就学支度費 1 件)

貸付金額 6,698,000 円 (稲築地区 3,468,000 円 碓井地区 1,303,000 円 山田地区 1,615,000 円 嘉穂地区 312,000 円)

#### ② 教育支援資金説明会の開催

開催年月日 平成 25 年 10 月 28 日 (月) 参加者数/6 人 内容/教育支援資金について、質疑応答 会場/稲築住民センター2 階会議室

#### ③ 新任民生委員生活福祉資金研修会の開催

開催年月日 平成 26 年 2 月 28 日 (金) 参加者数/33 人 テーマ/「生活福祉資金貸付事業の意義と民生委員の役割について」  
講師/福岡県社会福祉協議会 生活福祉資金課 課長 松田 浩信 氏 会場/夢サイトかほ 大研修室

#### ④ 相談履歴等を把握しやすくするための相談システムの導入

平成 25 年 4 月から、相談内容の入力、履歴の検索、事業実績の集計等を一元的に行えるシステムを導入し、事務事業の効率化を図りました。

## 6. 地域での生活を支援するために

### (1) 地域支えあい事業の推進

#### ① 相談、登録、コーディネート業務・サービス提供実績

提供回数 58 回 (稲築地区 38 回 碓井地区 1 回 山田地区 11 回 嘉穂地区 8 回)  
提供時間 194 時間 (稲築地区 136 時間 30 分 碓井地区 3 時間 山田地区 36 時間 嘉穂地区 18 時間 30 分)  
提供内容 草取り (15 回 77 時間 30 分) / 草取り・庭木の剪定 (13 回 55 時間 30 分) / 草取り・庭木の掘り起こし (1 回 4 時間)  
草取り・住居などの整理整頓 (1 回 4 時間) / 住居などの掃除・整理整頓 (9 回 26 時間) / 話し相手 (10 回 10 時間)  
庭木の剪定 (4 回 11 時間 30 分) / 入浴介助 (4 回 4 時間) / 害虫駆除 (1 回 1 時間 30 分)

#### ② 登録状況 利用会員 166 人 (入会者 10 人 退会者数 0 人) 協力会員 44 人 (入会者 4 人 退会者 0 人)

#### ③ アウトリーチに基づく相談者及び利用者のニーズ把握と総合的な支援活動の展開

碓井地区 ・地域支えあい事業の利用会員のご家族から介護に関する相談があり、本会の居宅介護支援事業所につながりました。平成 25 年 7 月 8 日 (月)  
山田地区 ・台風 24 号の接近で、利用会員宅 (一人暮らし) を訪問し、福祉避難所となっている山田ふれあいハウスの利用について案内しました。  
その方は避難所を利用され、一晩過ごされました。平成 25 年 10 月 8 日 (火)

### (2) 日常生活自立支援事業 (県社協事業)

#### ① 利用に関する相談受け付け及び支援計画に基づく生活支援の実施

相談件数 8 件 (稲築地区 2 件 碓井地区 0 件 山田地区 2 件 嘉穂地区 0 件 市外 4 件)  
新規契約件数 3 件 (稲築地区 0 件 碓井地区 0 件 山田地区 3 件 嘉穂地区 0 件)  
利用者数 12 人 (稲築地区 8 人 碓井地区 2 人 山田地区 1 人 嘉穂地区 1 名)  
支援回数 243 回 (稲築地区 145 回 碓井地区 48 回 山田地区 44 回 嘉穂地区 6 回)  
支援時間 246 時間 50 分 (稲築地区 127 時間 55 分 碓井地区 49 時間 45 分 山田地区 60 時間 40 分 嘉穂地区 8 時間 30 分)

### (3) 地域福祉権利擁護事業 (本会独自事業)

#### ① 金銭管理・生活支援サービスの実施

相談件数 6 件 (稲築地区 2 件 碓井地区 1 件 山田地区 2 件 嘉穂地区 0 件 市外 1 件)  
新規契約件数 4 件 (稲築地区 1 件 碓井地区 1 件 山田地区 2 件 嘉穂地区 0 件)  
移行契約件数 1 件 (稲築地区 0 件 碓井地区 0 件 山田地区 1 件 嘉穂地区 0 件)  
利用者数 5 人 (稲築地区 1 人 碓井地区 1 人 山田地区 3 人 嘉穂地区 0 名)  
支援回数 23 回 (稲築地区 2 回 碓井地区 10 回 山田地区 11 回 嘉穂地区 0 回)  
支援時間 28 時間 25 分 (稲築地区 1 時間 05 分 碓井地区 11 時間 05 分 山田地区 16 時間 15 分 嘉穂地区 0 時間)

#### ② 財産保管サービスの実施

相談件数 1 件 (稲築地区 1 件 碓井地区 0 件 山田地区 0 件 嘉穂地区 0 件)  
新規契約件数 1 件 (稲築地区 1 件 碓井地区 0 件 山田地区 0 件 嘉穂地区 0 件)  
利用者数 1 人 (稲築地区 1 人 碓井地区 0 人 山田地区 0 人 嘉穂地区 0 名)  
保管物品 年金証書 1 通  
保管場所 福岡銀行貸金庫

#### ③ 生活支援員会議の開催 12 回 延べ参加者数 99 人

#### ④ アウトリーチに基づく相談者及び利用者のニーズ把握と総合的な支援活動の展開

稲築地区 ・成年後見制度の内容を知りたいとの相談があったため、飯塚家庭裁判所で手続きの方法等について説明を受け、資料をもらいました。  
その後相談者宅を訪問し、詳細を説明しました。平成 25 年 6 月 27 日 (木)・28 日 (金)  
碓井地区 ・地域福祉権利擁護事業の利用者から、日常生活の困りごとについて相談があったため、地域支えあい事業の利用等をつうじて解決につな  
げました。平成 25 年 6 月 13 日 (木)  
山田地区 ・金銭や通帳、印鑑等の管理に自信がないという姉妹についての相談を受け、自宅を訪問して本会独自の地域福祉権利擁護事業の内容を説  
明しました。その結果、契約手続きをすすめることとなりました。平成 26 年 1 月 9 日 (木)

#### ⑤ 支援員の採用面接試験の実施

・第一期市民後見人養成講座の受講を修了した 26 人に、新年度から活動する支援員の募集を呼びかけたところ 10 人が応募し、平成 26 年 3 月 26 日 (水)  
に面接を実施し、結果 5 人を採用しました。

## 7. 学びの場を提供するために

### (1) 役員等研修事業

#### ① 地域福祉に関する合同研修会の開催

開催年月日 平成 25 年 7 月 5 日 (金) 参加者数/62 人 テーマ/「その人らしい生活を市民が支える」～市民後見人の役割とは～  
講師/社会福祉法人北九州市社会福祉協議会 権利擁護 市民後見センターらいと 事務局次長 杉本 真奈美 氏  
会場/稲築地区公民館講堂

## 8. 地域の安全と環境保全につなげるために

### (1) 空き家管理住まいるサービスの推進

#### ① 基本サービス・オプションサービスの提供

相談件数 0 件 (稲築地区 0 件 碓井地区 0 件 山田地区 0 件 嘉穂地区 0 件 市外 0 件)  
管理家屋 5 軒 (稲築地区 4 軒 碓井地区 1 軒 山田地区 0 軒 嘉穂地区 0 軒)

基本サービス提供回数 58 回（稲築地区 46 回 碓井地区 12 回）  
有事後の巡回 35 回（稲築地区 28 回 碓井地区 7 回）  
基本サービス提供時間 87 時間 09 分（稲築地区 68 時間 13 分 碓井地区 18 時間 56 分）  
オプションサービス提供回数 6 回（草刈り 5 回 草取り 1 回）  
オプションサービス提供時間 46 時間 30 分（草刈り 44 時間 30 分 草とり 2 時間）

### ②広報紙掲載による事業啓発

平成 25 年 7 月 1 日発行の広報紙 89 号において、空き家管理住まいるサービスの利用案内（対象家屋、申し込みの方法、サービスの内容、利用料金など）を掲載したところ、電話による問い合わせもありました。

### ③空き家に関する連絡会の開催

開催に向けて、平成 25 年 7 月 8 日（月）及び 7 月 9 日（火）に嘉麻市総務課、嘉麻警察署生活安全課、山田消防署を事前に訪問し、趣旨等を説明しましたが、担当窓口が決まっていない、所管する法律の範囲外との返答があり、開催については一旦保留しました。嘉麻警察署生活安全課からは、正式な文書等が届けば出席についてはその時点で検討するとの返事がありました。

## 9. 地域のつながりを育むために

### (1)地域の交流拠点寄ってこハウスの運営事業

#### ①ハウスのフェンスの改修

・ハウスの縁側に面して設置されていたフェンスが老朽化していたため、改修しました。平成 25 年 4 月 24 日（水）

#### ②ハウスの維持管理

・ハウスの内部の清掃を行いました。  
平成 25 年 4 月 11 日（木） 平成 25 年 4 月 25 日（木） 平成 25 年 5 月 27 日（月） 平成 25 年 6 月 27 日（木） 平成 25 年 7 月 12 日（木）  
平成 25 年 8 月 2 日（金） 平成 25 年 8 月 22 日（木） 平成 25 年 9 月 26 日（木） 平成 25 年 10 月 10 日（木） 平成 25 年 10 月 24 日（木）  
平成 25 年 11 月 13 日（木） 平成 25 年 11 月 18 日（月） 平成 25 年 12 月 26 日（木） 平成 26 年 1 月 16 日（木） 平成 26 年 1 月 30 日（木）  
平成 26 年 2 月 6 日（木） 平成 26 年 2 月 20 日（木） 平成 26 年 2 月 26 日（水） 平成 26 年 2 月 27 日（木）  
・ハウスの網戸を張り替えました。  
平成 25 年 5 月 2 日（木） 平成 25 年 5 月 9 日（木）

#### ③ハウス敷地内及び駐車場の草刈り

・寄ってこハウス敷地内及び駐車場の草刈りを行いました。平成 25 年 5 月 2 日（木）、平成 25 年 6 月 18 日（火） 平成 25 年 9 月 24 日（火）  
・寄ってこハウスの駐車場に茂っている樹木を伐採しました。平成 25 年 12 月 6 日（金）

#### ④ハウスの利用状況 延べ利用者数 183 人 延べ利用時間 71 時間 30 分 利用料 0 円

### (2)地域福祉部の設置・活動支援事業

#### ①地域福祉部及び福祉推進員設置状況 地域福祉部設置数 21 ヲ所（稲築地区） 福祉推進員数 27 人（稲築地区）

#### ②福祉推進員会の開催 回数 6 回 延べ出席者数 122 人（稲築地区）

#### ③地域推進員代表者会の開催 回数 6 回 延べ出席者数 26 人（稲築地区）

#### ④福祉推進員ブロック別懇談会の開催

第 1 ブロック	開催年月日	平成 25 年 12 月 5 日（木）	出席者数 3 人	内容／漆生南部公民館において、話し合いを行いました。
第 2 ブロック	開催年月日	平成 25 年 12 月 24 日（火）	出席者数 3 人	内容／漆生中央公民館において、話し合いを行いました。
第 3 ブロック	開催年月日	平成 26 年 1 月 26 日（日）	出席者数 5 人	内容／樋渡公民館において、話し合いを行いました。
第 4 ブロック	開催年月日	平成 26 年 1 月 16 日（木）	出席者数 6 人	内容／鴨生町公民館において、話し合いを行いました。
第 5 ブロック	開催年月日	平成 26 年 1 月 19 日（日）	出席者数 5 人	内容／銭代坊公民館において、話し合いを行いました。

#### ⑤福祉推進員研修会の開催

開催年月日 平成 25 年 10 月 30 日（水）～31 日（木） 参加者数／9 人  
テーマ①／災害に対応できる地域づくりとは 視察先／中津市社会福祉協議会 耶馬溪下郷地区  
講師／島集落自治委員 平野 義信 氏 宮園集落自治委員及び橋本・宮園集落民生委員 松井 和盛 氏  
テーマ②／関係を拒む方へのアプローチ 視察先／上毛町社会福祉協議会  
講師／職員 宮下 佐百合 氏

#### ⑥地域福祉部に対する活動助成 助成件数 18 件 助成額 644,000 円（稲築地区）

#### ⑦地域福祉部活動の紹介及び映画上映等による活動支援

山野第一行政区ネットワーク委員会の話し合いに出席したほか、山野第一行政区地域福祉部主催の男性料理教室取材しました。

#### ⑧新規設置に向けた行政区への働きかけの強化

・飯田行政区長に稲築地区の地域福祉部活動の状況について説明と情報提供を行ったところ、見学を希望されました。平成 26 年 2 月 19 日（水）

### (3)ふれあい・いきいきサロンの設置・支援事業

#### ①設置状況 32 ヲ所（稲築地区 19 ヲ所 碓井地区 7 ヲ所 山田地区 5 ヲ所 嘉穂地区 1 ヲ所）

#### ②碓井地区ふれあい・いきいきサロン代表者会の開催

開催年月日 平成 25 年 4 月 2 日（火） 参加者数／6 人  
内容／平成 25 年度の助成金交付に関する説明 ①ふれあい・いきいきサロンに対する助成について ②ボランティア行事用保険に関する説明について ③助成金交付申請等について ④意見・情報交換について 会場／碓井千歳会館

#### ③ふれあい・いきいきサロンに対する活動助成

助成件数 29 件（稲築地区 17 件 碓井地区 6 件 山田地区 5 件 嘉穂地区 1 件）  
助成額 893,240 円（稲築地区 492,000 円 碓井地区 193,740 円 山田地区 170,000 円 嘉穂地区 37,500 円）  
助成額の内訳 基本設置額 232,000 円（稲築地区 136,000 円 碓井地区 48,000 円 山田地区 40,000 円 嘉穂地区 8,000 円）  
活動助成額 574,000 円（稲築地区 334,000 円 碓井地区 112,000 円 山田地区 104,000 円 嘉穂地区 24,000 円）  
保険加入助成額 87,240 円（稲築地区 22,000 円 碓井地区 33,740 円 山田地区 26,000 円 嘉穂地区 5,500 円）

#### ④ふれあい・いきいきサロン活動の紹介及び映画上映等による活動支援

稲築地区 ・鴨生町サロンにおいて映画を上映しました。樋渡サロンに上映のための機材を貸し出しました。  
また、鴨第一、山野第一、漆生中央、口春、岩崎、鴨生第二、平東、鴨生町、銭代坊サロンの活動を見学しました。鴨第一サロンでは、社協事業について説明することができました  
碓井地区 ・上臼井、上臼井西、下臼井東、下臼井西サロンの活動を見学しました。  
山田地区 ・神幸、天神、木城サロンの活動を見学したほか、木城、尾浦第一サロンでは広報紙の取材を行いました。  
また、木城サロンでは社協事業について説明したほか、尾浦第一サロンの話し合いに出席しました。  
嘉穂地区 ・足白ふれあい・いきいきサロンの活動を見学しました。

#### ⑤新規設置に向けた行政区への働きかけの強化

山田地区 ・百々谷地区でのサロンの開催場所について、民生委員と話し合いを行いました。平成 25 年 6 月 14 日（金）

#### ⑥地域及びサロン参加者の個別ニーズの把握と支援につなげる仕組みづくり

碓井地区 ・平山サロンの参加者宅を訪問し、サロンの再開についての意向を確認した。平成 25 年 6 月 14 日（金） 平成 25 年 12 月 13 日（金）

## 10. 地域の福祉について考えるために

### (1) 地域福祉推進委員会

#### ① 任期満了に伴う地域福祉推進委員会の改選

各地区の関係団体等からの推薦を得て、地域福祉推進委員会委員の改選を行いました。(任期は平成26年3月1日から平成28年2月29日まで)

#### ② 地域福祉推進委員会の開催

稲築地域福祉推進委員会 3回(第21回～第23回) 延べ出席者数22人  
碓井地域福祉推進委員会 3回(第20回～第22回) 延べ出席者数22人  
山田地域福祉推進委員会 3回(第19回～第21回) 延べ出席者数25人  
嘉穂地域福祉推進委員会 3回(第21回～第23回) 延べ出席者数23人

#### ③ 地域の会合等への参加

碓井地区 ・ 碓井地区老人クラブ連合会の会合に出席し、地域の福祉情報等の提供について依頼しました。平成25年6月10日(月)  
嘉穂地区 ・ 嘉穂地区民生委員児童委員協議会の定例会において、地域福祉権利擁護事業について説明しました。平成25年8月22日(木)

## 11. いざという時に備えるために

### (1) 地域における要援護者台帳の整備事業

#### ① アウトリーチに基づく要援護者の把握

稲築地区 ・ 認知症のある近所の方が心配との連絡があったため、当事者の方を訪問し、状況を県外に住んでいるご家族に伝えました。今後も定期的に訪問することとしました。平成25年7月17日(水)  
・ 認知症のある一人暮らし高齢者宅を、隣家の方とともに訪問し、状況をご家族に連絡した。地域のネットワーク活動の中で見守ってもらうよう依頼しました。平成25年8月2日(金)

#### ② 地域福祉活動を通じた要援護者の把握

件数476件(一人暮らし高齢者306件 高齢者世帯101件 障がい者世帯26件 一人親世帯1件 その他42件)

#### ③ 各地区民協へのあんしんカードの活用依頼

・ 嘉穂庁舎で開催された嘉穂地区民生委員児童委員協議会で、あんしんカードの目的や使用方法等について説明しました。平成25年4月18日(木)  
・ 嘉穂庁舎で開催された嘉穂地区民生委員児童委員協議会で、あんしんカードを配布し、記入方法や取り扱いに関する注意事項について説明しました。平成25年7月18日(木)  
・ うすい人権啓発センターあかつきで開催された碓井地区民生委員児童委員協議会で、あんしんカードの目的や使用方法等について説明しました。平成25年10月7日(月)  
・ 嘉穂庁舎で開催された嘉穂地区民生委員児童委員協議会で、新任の方へあんしんカードについて説明しました。平成26年1月16日(木)  
・ 鴨生第二行政区の担当民生委員に、あんしんカードの目的や使用方法等について説明しました。平成26年3月13日(木)  
・ 漆生本村行政区の担当民生委員に、あんしんカードの目的や使用方法等について説明しました。平成26年3月14日(金)

### (2) 福祉ベル・電動ブザー設置事業

#### ① 福祉ベル・電動ブザー利用者及び協力者の状況把握

稲築地区 ・ 山野第一行政区の協力者及び利用者宅を訪問しました。平成25年7月17日(水)

#### ② 福祉ベル・電動ブザーの設置状況

福祉ベル/年度当初件数20件/撤去件数0件 年度末件数20件(稲築地区)  
電動ブザー/年度当初件数1件/撤去件数0件 年度末件数1件(嘉穂地区)

## 12. 子育てを支援するために

### (1) 子育て用品リユースセンターの運営

#### ① 運営状況

利用者数1,047人 寄附物品数9,040点  
リユース品数6,635点(幼児用衣類、おもちゃ、帽子、靴、鞆、ベビーカー、ベビーラック、ベビー布団セット、マタニティ、チャイルドシート、クーハン、絵本、歩行器、紙おむつ、ベビー毛布、一輪車、おもちゃ、ベビーベッド、制服など)

### (2) おしゃべりサロンの開催

#### ① 定期サロンに開催

回数11回 延べ参加者数142人(内ボランティア45人)

#### ② 子育て支援事業の啓発

・ 山田生涯学習館で開催された第1子(2ヵ月～5ヵ月)を持つ母親の集い IPP0(嘉麻市教育委員会主催)において、おしゃべりサロンや子育てグループかまっぴなどの活動について案内しました。平成25年12月3日(火)

### (3) チャイルドシート貸出事業

#### ① 相談、貸し出し、返却等窓口業務実績

貸出件数68件(新規貸出31件 更新貸出37件)

#### ② 安全確保のために、定期的な処分と購入

乳幼児用のチャイルドシートを12台購入しました。平成25年6月28日(金)

### (4) 子育て情報紙の編集発行

#### ① 子育てグループかまっぴと連携した子育て情報紙の編集発行

発行回数4回(第14号～第17号 6月・9月・12月・3月)  
情報紙は、市内の図書館、子育て支援センター、保健センター等に配布しました。

### (5) 児童遊具実態調査・遊具整備事業

#### ① ブロック毎での福祉推進員による実態調査

稲築地区 各ブロック福祉推進員との遊具点検 回数5回 参加者数13人 修理(交換)0件・塗装0件

#### ② 職員による実態調査

稲築地区 回数5回 修理0件 撤去0件

## 13. 高齢者の方々を支援するために

### (1) 紙おむつ宅配事業の実施

#### ① 相談、配達等の窓口業務

利用者数152人 延べ利用件数242件 販売パック数738袋

### (2) 福祉機器貸出事業の実施

#### ① 相談、貸し出し、返却等の窓口業務

貸出件数37件(車椅子34件 介護用ベッド2件 ポータブルトイレ1件 介護用テーブル0件)

返却件数43件(車椅子39件 介護用ベッド2件 ポータブルトイレ2件 介護用テーブル0件)

#### ② アウトリーチに基づく利用者のニーズ把握及び総合的な支援活動の展開

稲築地区 ・ 車いすの借用に関する相談を受けた方の自宅を訪問し、状況を伺った。後日、車いすのグリップに不具合があると連絡があり、別の車いすを持って訪問しました。平成25年4月17日(水)、平成25年4月22日(月)  
・ 難病により電動ベッドの借用に関する相談を受けた方の自宅を訪問し、生活状況について伺いました。ベッドを貸し出すとともに、フェイスシートを作成し課題を整理しました。住居についてが一番の課題であったため、担当のケースワーカーとも連携して、本人の意向を確認しながら課題の解決に取り組んでいくことになりました。平成25年4月10日(水)  
・ 電動ベッドの借用に関する相談を受けた方の自宅をケアマネージャとともに訪問し、状況を伺いました。課題を整理し、介護保険の申請につなげました。平成25年4月22日(月)  
・ 介護保険での車いすレンタルができない方から借用に関する相談を受けたため、自宅を訪問し状況を伺いました。介護保険については

変更申請手続きをすすめることとし、その間貸し出すこととしました。平成 25 年 5 月 27 日 (月)

- ・電動ベッドの借用に関する相談を受けた方の自宅を訪問し、生活状況について伺いました。平成 25 年 7 月 12 日 (木)
- 山田地区 ・電動ベッドの借用に関する相談を受けた方の自宅を訪問し、生活状況について伺いました。平成 25 年 7 月 25 日 (木)

### ③電動ベッド貸し出し終了に向けた利用者意向調査の実施

- ・調査対象者 電動ベッド借業者 12 人 ・調査方法 訪問聞き取り調査 ・調査期間 平成 26 年 1 月 26 日 (月)・28 日 (火)
- ・調査結果 無償譲渡について 11 人が希望されました。残りの 1 人については住宅が取り壊され、所在不明でした。

### (3)在宅介護者の集い

- ①定例会の開催 12 回 延べ参加者数 103 人

### (4)介護用品展示幹旋事業の実施

#### ①相談、幹旋等の窓口業務

- 取り扱い件数 32 件 (稲築地区 7 件 碓井地区 0 件 山田地区 10 件 嘉穂地区 15 件)
- 内訳 楓ステッキ 1 本 ヒューゴステッキ 1 本 洗髪機 1 台 折りたたみ杖 1 本 杖 1 本 防水シート 1 枚 吸収パンツ 1 枚
- 介護シューズ (2 件) 2 足 消臭フォームタイプ (1 件) 2 本 消臭シート (10 件) 20 枚 失禁用パンツ (3 件) 7 枚 骨盤ベルト (9 件) 10 個

## 14. 障がい児・者の方々を支援するために

### (1)障がい児日中一時支援事業

#### ①利用状況

- 嘉麻北障がい児日中一時支援事業所 開所日数 308 日 延べ利用回数 1,518 回 延べボランティア数 159 人
- 嘉麻南障がい児日中一時支援事業所 開所日数 267 日 延べ利用回数 882 回 延べボランティア数 256 人
- 利用登録者数 33 人

#### ②送迎サービス利用状況

- 嘉麻北障がい児日中一時支援事業所 延べ利用者数 14 人 延べサービス提供回数 71 回
- 嘉麻南障がい児日中一時支援事業所 延べ利用者数 48 人 延べサービス提供回数 594 回

#### ③利用児童交流事業の実施

実施年月日 平成 25 年 7 月 27 日 (土) 参加者数 35 人

- 内容/・自己紹介 ・朗読ボランティア福寿草による大型絵本の読み聞かせ ・手作り楽器でのダンスタイム ・スタッフ手づくりの食事会
- ・すいか割りゲーム ・集合写真の撮影 実施場所/山田ふれあいハウス

実施年月日 平成 25 年 12 月 14 日 (火) 参加者数 14 人

- 内容/・スタッフ手づくりの食事 ・ボランティアの山戸理恵子さんによるピアノ演奏 ・クリスマスソングの合唱 (伴奏 山戸理恵子さん)

- ・クリスマスプレゼントの贈呈 ・アニメの上映 ・ゲーム (ボウリング・輪投げ) ・朗読ボランティア福寿草による大型絵本の読み聞かせ

- ・おやつ (ボランティア 6 人が参加) 実施場所/嘉麻北日中一時支援事業所

実施年月日 平成 26 年 3 月 1 日 (土) 参加者数 10 人

- 内容/・卒所児童紹介 ・アニメソング合唱 ・昼食 ・アニメ上映 ・卒所児童へのプレゼント贈呈 ・記念写真撮影

実施場所/嘉麻北日中一時支援事業所

#### ④ボランティア募集チラシの配布

- ・夏休み期間中のボランティア募集チラシを、各庁舎、図書館、山田ふれあいハウス、碓井千歳会館、稲築志耕館高等学校、嘉穂総合高等学校大隈城山校、近畿大学附属福岡高等学校、福岡県立大学、近畿大学九州短期大学、福岡大学などに配布しました。平成 25 年 6 月 14 日 (金)
- ・福岡県立大学、九州工業大学、近畿大学九州短期大学に夏休み期間中の学生アルバイトの募集を行いました。平成 25 年 6 月 24 日 (月)
- ・山田図書館に掲示したボランティア募集チラシを見て、活動したいとの問い合わせがありました。平成 25 年 7 月 8 日 (月)
- その方は、夏休み期間中、南事業所で活動されました。
- ・福岡大学に掲示されていたボランティア募集チラシを見て、活動したいとの問い合わせがありました。平成 25 年 8 月 13 日 (火)
- その方は、夏休み期間中 5 日間、北事業所で活動されました。
- ・冬休み期間中のボランティア募集チラシを、各庁舎、図書館、山田ふれあいハウス、碓井千歳会館、稲築志耕館高等学校、嘉穂総合高等学校大隈城山校、近畿大学附属福岡高等学校、福岡県立大学、近畿大学九州短期大学、福岡大学などに配布しました。平成 25 年 11 月 8 日 (金)
- ・春休み期間中のボランティア募集チラシを、各庁舎、図書館、山田ふれあいハウス、碓井千歳会館、稲築志耕館高等学校、嘉穂総合高等学校大隈城山校、近畿大学附属福岡高等学校、福岡県立大学、近畿大学九州短期大学、福岡大学などに配布しました。平成 26 年 2 月 19 日 (水)

#### ⑤音楽療法の導入

内容/歌及び楽器や人形を使ったセッション 指導/緒方 恵美 氏

嘉麻北障がい児日中一時支援事業所 回数 6 回 延べ参加者数 62 人

嘉麻南障がい児日中一時支援事業所 回数 6 回 延べ参加者数 17 人

#### ⑥スタッフミーティングの開催

開催回数 11 回 延べ参加者数 59 人

#### ⑦スタッフ研修の実施 (公開講座)

実施年月日 平成 25 年 9 月 2 日 (火) 参加者数/26 人

内容/居場所を探して～累犯障がい者たち～ 講師/社会福祉法人南高愛隣会 更生保護施設 雲仙・虹 施設長 前田 康弘 氏

会場/碓井千歳会館 大会議室

#### ⑧嘉麻北日中一時支援事業所の草刈り

- ・嘉麻北日中一時支援事業所の草刈りを行いました。平成 25 年 5 月 2 日 (木) 平成 25 年 6 月 25 日 (火) 平成 25 年 9 月 27 日 (金)

#### ⑨嘉麻北・南日中一時支援事業所の維持管理

- ・嘉麻北日中一時支援事業所に壁掛けテレビを設置したほか、洗濯機の蓋を修理しました。平成 25 年 7 月 28 日 (日)

- ・嘉麻北日中一時支援事業所室内の破損した壁板を張り替えました。平成 26 年 1 月 21 日 (火)

## 15. ボランティア活動や市民活動を広げていくため

### (1)ボランティア・市民活動センターの運営

#### ①利用状況

活動申込み件数 24 件 (稲築地区 6 件 碓井地区 0 件 山田地区 10 件 嘉穂地区 3 件 その他 5 件)

活動依頼件数 3 件 (稲築地区 1 件 碓井地区 2 件 山田地区 0 件 嘉穂地区 0 件 その他 0 件)

備品貸出件数 2 件 (稲築地区 0 件 碓井地区 0 件 山田地区 0 件 嘉穂地区 1 件 その他 1 件)

活動保険 2 件 (稲築地区 0 件 碓井地区 0 件 山田地区 0 件 嘉穂地区 2 件 その他 0 件)

その他相談 7 件 (稲築地区 3 件 碓井地区 3 件 山田地区 0 件 嘉穂地区 1 件 その他 0 件)

#### ②広報紙をつうじた情報発信

12 回 (第 86 号～第 97 号) 全戸配布

#### ③ブログによる情報発信

ブログをつうじて、ボランティアの募集情報、被災地災害ボランティアセンターでの活動報告及び情報、稲築志耕館高校 1 年生のボランティア体験、点訳講座や運営委員会の報告、ボランティア活動保険等に関する情報を発信するため、94 回更新しました。

#### ④ボランティア活動保険の周知

社協だよりえがお (No.88) のボランティア・市民活動センター情報のページで、平成 25 年度のボランティア活動保険への加入について呼びかけました。



### ⑤ボランティア活動保険助成枠の活用促進

加入件数 33 件（稲築地区 13 件 碓井地区 3 件 山田地区 8 件 嘉穂地区 6 件 市外 3 件）  
加入内訳 助成枠あり 164 人（稲築地区 35 人 碓井地区 29 人 山田地区 36 人 嘉穂地区 62 人 市外 2 人）  
助成枠なし 171 人（稲築地区 94 人 碓井地区 18 人 山田地区 19 人 嘉穂地区 39 人 市外 1 人）

### ⑥ボランティア行事用保険の加入実績

加入件数 49 件（稲築地区 23 件 碓井地区 13 件 山田地区 9 件 嘉穂地区 3 件 市外 1 件）  
加入内訳 サロンでの加入 17 件（稲築地区 4 件 碓井地区 7 件 山田地区 5 件 嘉穂地区 1 件 市外 0 件）  
他の行事での加入 32 件（稲築地区 19 件 碓井地区 6 件 山田地区 4 件 嘉穂地区 2 件 市外 1 件）

### ⑦保険請求手続き

・鴨生第二ふれあい・いきいきサロンの活動中の怪我に対する傷害保険の請求を行いました。平成 26 年 2 月 14 日（金）

## (2) 災害ボランティアセンター事業

### ①災害時など職員がすぐ判別できるユニフォームの整備

災害ボランティアセンター設置運営訓練に使用できるよう、スタッフジャンパー（ブルー）、ポロシャツ（白・紺）を整備しました。  
平成 25 年 4 月 19 日（金）

### ②学生等の参加を得た災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施

実施年月日 平成 25 年 4 月 20 日（土） 参加者数/44 人 会場/稲築住民センター  
訓練想定/遠賀川の水害を想定して、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。  
内容/・オリエンテーション ・班分け（総務・ニーズ・ボランティア受付・マッチング・炊き出し） ・訓練① ミーティング 訓練②  
・班ごとでのまとめ ・炊き出し（豚汁・おにぎり）による昼食 ・総括（各班からの報告を踏まえて） ・撤収訓練

### ③災害支援活動の実施

- ・7 月 28 日の豪雨により、甚大な被害が出た山口市阿東地区災害ボランティアセンターで何か支援活動ができないかとの思いで職員 4 人で伺ったが、当日は、再び雨が降り二次被害の心配もあることから、センターが閉鎖となりました。そのため、本会から持参した支援物資（タオル、毛布）を手渡すことにとどまりました。その後、島根県津和野町災害ボランティアセンターは運営しているとの情報があったため、同センターに行き、ボランティア登録後、町内にある弥栄神社境内において、土砂の掻き出し、土嚢袋詰め、撤去作業などの支援活動を行いました。平成 25 年 8 月 2 日（金）
- ・7 月 28 日の豪雨により、甚大な被害が出た萩市災害ボランティアセンター（旧県立奈古高校須佐分校体育館）の活動を支援するため、本会職員が交代（2 泊 3 日）でセンターの運営スタッフとして活動しました。平成 25 年 8 月 12 日（月）～平成 25 年 8 月 31 日（土）
- ・萩市災害ボランティアセンターからの「ボランティアが足りない」との情報を受け、本会において災害ボランティアの募集を行い、バスをチャーターして現地に赴きました。ボランティアの受け付けを行い、中畑、金井、上小川、須佐地区の被災民家で土砂の撤去作業等を行いました。  
参加ボランティア 34 人 平成 25 年 8 月 28 日（水）

### ④嘉麻市災害ボランティアセンターの設置等に関する協定の締結

- ・本市において水害などの大規模災害が発生し、ボランティアによる支援活動が必要となった場合は、行政からの要請で、本会が災害ボランティアセンターを設置・運営し、被災した方々の支援にあたることとなっています。そのため、嘉麻市と本会において、センターの設置場所や業務内容、費用負担などの基本的事項を定めた協定を締結しました。 調印式/平成 25 年 12 月 24 日（火） 嘉麻市役所碓井庁舎

## (3) ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催

開催回数 2 回 延べ出席者数 18 人

内容/平成 24 年度事業報告について 平成 25 年度の取り組みについて 災害ボランティアセンター設置運営訓練について

稲築志耕館高等学校（1 年生）のボランティア体験活動について 平成 25 年 7 月 28 日（日）の大雨による山口・島根豪雨災害支援について

災害時における本市の課題について 今後の備えをすすめていくために（意見交換）

## (4) ボランティアに関する学習機会の提供

### ①学生を対象としたボランティア入門講座の開催

第 1 回 開催年月日 平成 25 年 7 月 30 日（火） 参加者数/10 人

内容/・オリエンテーション 自己紹介 ・講義 「ボランティアとは」 講師/嘉麻市社会福祉協議会事務局長 木山 淳一  
・車いすの構造・基本操作について、車いすに乗る人のことを考える ・車いす体験 ・車いす体験の振り返り

会場/築住民センター2 階会議室

第 2 回 開催年月日 平成 25 年 7 月 31 日（水） 参加者数/10 人

内容/・障害者支援施設三愛園、障がい者支援施設清浄学園でのボランティア体験 ・講座の振り返り、グループ別発表  
・かまボランティア・市民活動センターについて ・ボランティア活動保険について ボランティア活動情報の紹介

会場/障害者支援施設三愛園 障がい者支援施設清浄学園 稲築住民センター2 階会議室

### ②点訳サークルと連携した点訳ボランティア講座の開催

第 1 回 開催年月日 平成 25 年 8 月 19 日（月） 参加者数/4 人

内容/・オリエンテーション ・視覚障がいについて ・点字の歴史と概要について

第 2 回 開催年月日 参加者数/4 人

内容/・点字の読み方、書き方について

第 3 回 開催年月日 参加者数/4 人

内容/・点字表記の決まりを覚える①

第 4 回 開催年月日 参加者数/4 人

内容/・点字表記の決まりを覚える②

第 5 回 開催年月日 参加者数/2 人

内容/・文書を作ってみよう ・これからの活動について

講師/点訳サークルてんとうむし 代表 松下 正良 氏

### ③福岡県立稲築志耕館高校のボランティア学習の支援

- ・同校 1 年生（240 名）を対象として、本会の木山事務局長がボランティア活動について講話しました。平成 25 年 5 月 9 日（木）
- ・生徒のみなさんが希望するボランティア活動について、受け入れ施設等との調整を行いました。平成 25 年 5 月 9 日（木）～随時  
活動件数 29 件 延べ活動参加者数 234 人

## 16. あらたな事業を企画・実施するために

### (1) ひきこもり家族への支援に関する調査・研究

#### ①家族等が集える場の研究

家族の集いの開催 回数 9 回 延べ参加者数 31 人

#### ②勉強会の開催

第 1 回 開催年月日 平成 25 年 5 月 25 日（土） 参加者数/18 人

内容/・ひきこもり講演会「ひきこもりの若者とどう向き合う？」

講師/北九州市ひきこもり支援センター センター長 田中美穂 氏 会場/稲築住民センター2 階会議室

第 2 回 開催年月日 平成 25 年 7 月 25 日（木） 参加者数/5 人

内容/・笛田さんによるリコーダー演奏と語り、その後、笛田さんのお母さんをまじえた座談会

講師/笛田 千裕 氏 会場/寄ってこハウス

第3回 開催年月日 平成25年12月26日(木) 参加者数/16人  
内容/「ひきこもる気持ち」～当事者の思い～  
講師/YMCA 学院高等学校 福岡センタースタッフ 三村 吉郎 氏 会場/稲築住民センター2階会議室

### ③視察研修の実施

- 平成26年3月14日(金)に、職員3人で空き店舗を借用して不登校などの子どもの居場所をつくり運営している「ハッピービバーク」を視察しました。また、親の会「ほっとケーキ」の立ち上げ経過及び活動等についても教示を受けました。

## 17. 共同募金運動に協力するために

### (1)街頭募金への協力

#### ①募金ボランティアの募集

福岡県共同募金会嘉麻市支会が市内のスーパー等の店頭で実施した街頭募金において、募金ボランティアの募集及び調整を行いました。

#### ②地域活動をつうじた募金実施先の開拓

日頃の地域活動を通じて、街頭募金を実施させていただける新規協力先の開拓に努めました。

### (2)戸別募金への協力

#### ①募金使途についての啓発

- 福岡県共同募金会嘉麻市支会と連携して、共同募金の配分の流れや使途状況をまとめたチラシを作成した。(このチラシは、嘉麻市支会が各地区行政区長の協力を得て、全戸に配布しました。)
- 碓井庁舎2階会議室で開催された碓井地区行政区長会に出席し、戸別募金への協力をお願いしました。平成25年7月17日(木)
- 夢サイトかほで開催された嘉穂地区行政区長会に出席し、戸別募金への協力をお願いしました。平成25年9月5日(木)
- 稲築保健センターで開催された稲築地区行政区長会に出席し、戸別募金への協力をお願いしました。平成25年9月6日(金)
- 山田ふれあいハウスで開催された碓井地区行政区長会に出席し、戸別募金への協力をお願いしました。平成25年9月9日(月)

### (3)職域募金への協力

#### ①地域活動をつうじた職域募金協力先の開拓

- 日頃の地域活動をつうじて、職域募金への新規協力先を1ヵ所開拓しました。
- 稲築地区の事業所の協力により、募金箱を設置しました。平成25年11月1日(金)

### (4)法人募金への協力

#### ①地域活動をつうじた法人募金協力先の開拓

- 日頃の地域活動をつうじて、法人募金への新規協力先を6ヵ所開拓しました。

### (5)キャラクター募金への協力

#### ①地域活動をつうじたキャラクター募金箱設置協力先の開拓

- セブンイレブン嘉麻山野店、ファミリーマート嘉麻平店、西松屋福岡稲築店に協力を呼びかけ、セブンイレブン嘉麻山野店に設置することができました。平成25年6月7日(金)
- ポプラ稲築山野店の再オープンに伴って募金箱設置の協力をお願いし、了解を得ました。

### (6)イベント募金での協力

#### ①碓井千歳会館フリーマーケットの収益金による募金協力

- 第6回碓井千歳会館フリーマーケットの収益金(本会分)21,700円を福岡県共同募金会嘉麻市支会に寄託しました。

### (7)赤い羽根自動販売機設置先の開拓協力

#### ①地域活動をつうじた赤い羽根自動販売機設置先の開拓

- 西田石油、道の駅うすい、西松屋福岡稲築店、ドラッグコスモス碓井店に協力を呼びかけました。平成25年6月11日(火)
- 稲築郵便局に協力を呼びかけました。平成25年6月12日(水)
- 稲築志耕館高等学校、自立支援センターうすいに協力を呼びかけました。平成25年6月17日(月)
- 山田学園に協力を呼びかけました。平成25年6月21日(金)

## 18. その他の事業活動

### (1)各種団体等への助成事業の実施

嘉麻市民生委員・児童委員協議会及び4地区行政区長会に対して助成金を交付しました。

### (2)ホームレス自立支援事業の実施

#### ①ホームレス支援物資の募集

- 平成25年6月1日に発行した本会広報紙(No.88)及びブログをつうじて支援物資を募集しました。  
募集期間 平成25年6月3日(月)～平成25年7月19日(金)
- 平成25年11月1日に発行した本会広報紙(No.93)及びブログをつうじて支援物資を募集しました。  
募集期間 平成25年11月1日(金)～平成25年12月27日(金)

#### ②ホームレス支援物資の搬送

実施年月日 平成25年7月26日(金) 搬送先/NPO法人北九州ホームレス支援機構八幡事務所

搬送物資の内訳/長袖シャツ11枚、Tシャツ3枚、ランニングシャツ4枚、タオル3枚、パンツ7枚、靴下10足、カミソリ22本

実施年月日 平成26年1月8日(水) 搬送先/NPO法人北九州ホームレス支援機構八幡事務所

搬送物資の内訳/防寒着52枚、セーター類58枚、ズボン下4枚、パンツ3枚、半袖肌着1枚、長袖肌着7枚、マフラー4枚、靴下33足、靴3足、毛布25枚、手袋1双、石鹸10個

### (3)弔電子郵便送付事業の実施

#### ①事業実績 送付件数6件(稲築地区4件 碓井地区1件 山田地区0件 嘉穂地区1件)

### (4)初盆世帯供物配布事業の実施

#### ①初盆世帯への供物の配布

配布件数265件(稲築地区75件 碓井地区27件 山田地区66件 嘉穂地区78件 県内市外18件 県外1件)

なお、供物についてはゆうパックで配送しました。

### (5)アルミ缶回収事業

#### ①アルミ缶等の換金

総量4,190kg(アルミ缶1,090kg 段ボール870kg 新聞1,680kg 雑誌550kg 鉄0kg)

換金額101,050円(アルミ缶76,300円 段ボール6,340円 新聞15,660円 雑誌2,750円 鉄0円)

#### ②協力者への回収袋の配布

- アルミ缶の寄付をいただいた方にお礼として回収袋を手渡しました。稲築61件 碓井39件 山田54件 嘉穂14件

## (6) 葬祭場指定事業

### ①協力実績

件数 6 件 (いすや会館 1 件 セレモニーホールおおつか 0 件 あじさい会館 0 件 善光会館 5 件 おかむら葬祭岡村会館 0 件 飛鳥会館 0 件 きど葬祭 0 件 ひさつね会館 0 件)

事業協力金額 135,000 円 (いすや会館 15,000 円 セレモニーホールおおつか 0 円 あじさい会館 0 円 善光会館 120,000 円 おかむら葬祭岡村会館 0 円 飛鳥会館 0 円 きど葬祭 0 円 ひさつね会館 0 円)

### ②広報紙をつうじた指定葬祭場の紹介

- ・本会広報紙「えがおの」の中に指定葬祭場の紹介コーナーを設けて、輪番で会館の写真や案内図、また、コメントを掲載するなど 啓発に努めました。

## (7) バス待合所の管理

### ①バス待合所実態調査の実施

管理数 37 ヲ所(稲築地区)

実態調査 平成 25 年 5 月 13 日(月)～平成 25 年 5 月 15 日(水)の中で実施しました。

調査の結果 中籠バス停下りの上屋は手すりが老朽化していたため、修理を行いました。平成 25 年 6 月 3 日(月)  
口春バス停下りの上屋は、柱の根元が腐食していたため、修理を行いました。平成 25 年 11 月 21 日(木)  
山野バス停下りの上屋は、柱の根元腐食し、塗装の剥がれもひどかったため、修理及び塗装を行いました。  
平成 25 年 11 月 21 日(木)

実態調査 平成 25 年 11 月 18 日(月)～平成 25 年 11 月 22 日(金)の中で実施しました。

調査の結果 才田日吉福祉バス停は、外壁の破損や塗装のはがれがひどかったため、修理及び塗装を行いました。平成 26 年 1 月 14 日(火)

その他 ・稲築交番前バス停の上屋の屋根の一部が破損したため修理しました。平成 25 年 10 月 11 日(金)

- ・平バス停上りの上屋は、路線変更で使用されておらず、破損もひどいので撤去してほしいとの近隣住民からの申し出を受け撤去しました。  
平成 25 年 11 月 27 日(水)

- ・才田日吉福祉バス停の待合所が老朽化したため補修(塗装、タキロン張り替え、下地鉄板の補強)しました。平成 26 年 1 月 14 日(火)

- ・西馬見能里集会所に設置してあったベンチが破損しているとの連絡があったため、保管してあったベンチと入れ替えました。

平成 26 年 1 月 22 日(水)

## (8) ポストカードの販売

### ①販売実績

販売数 13 セット(稲築地区 2 セット 碓井地区 0 セット 山田地区 0 セット 嘉穂地区 1 セット カッホー馬古屏 10 セット)  
販売金額 2,600 円(稲築地区 400 円 碓井地区 0 円 山田地区 0 円 嘉穂地区 200 円 カッホー馬古屏 2,000 円)

### ②広報紙等をつうじたポストカードの紹介

- ・社協だよりえがおNo.94(平成 25 年 12 月 1 日発行)において、ポストカードを紹介する記事を掲載しました。
- ・ブログにポストカードの紹介記事を掲載しました。平成 26 年 2 月 7 日(金)

## (9) 飲料水自動販売機の設置事業

### ①山田総合庁舎内及び庁舎前公園駐車場に自動販売機を設置し、飲料水の販売

販売本数 7,670 本(山田庁舎 2,969 本 山田庁舎前駐車場 4,701 本)

## (10) 東日本大震災被災地復興応援募金等の募集

件数 1 件 義援金額 7,092 円

## (11) 視察研修の受け入れ

- ・本会の地域支え合い事業について学ぶため、志免町社会福祉協議会(職員 1 人)が視察に訪れました。平成 25 年 9 月 13 日(金)
- ・本会の子育てリユースセンターについて学ぶため、宮若市社会福祉協議会(職員 2 人)及び子育て連絡会「きらりん」の方が視察に訪れました。  
平成 25 年 10 月 4 日(金)

## (12) 飯塚市・嘉麻市・桂川町社協主催による公開講座の開催

開催年月日 平成 25 年 11 月 25 日(金) 参加者数/40 人 テーマ/「寄り添い、共に歩いていくこととは…」

講師/親の会ホットケーキ、不登校の子どものための居場所ハッピーバグ 代表 山口 由美子 氏

親の会ホットケーキ支援者 湯越 由美子 氏

会場/桂川町住民センター

## (13) その他

- ・嘉麻市高齢者介護課が主催する介護生活支援サポーター養成講座において、本会職員が地域福祉の現状について講義しました。  
平成 25 年 11 月 28 日(木)
- ・福岡県立大学で開催された福岡県が主催する大学生災害ボランティアサポーター養成研修において本会職員がオブザーバーとして参加したほか、木山事務局長が「平常時の活動とネットワークづくり」をテーマに講義しました。平成 25 年 11 月 23 日(土)～24 日(日)

# 在宅福祉推進部門

## ■具体的事業活動

### 1. 介護保険事業の推進

#### (1) 居宅介護支援事業（嘉麻北居宅介護支援事業所）

##### ①居宅介護支援事業の実施

月平均利用者数 100.5 人（要介護 1/44.1 人 要介護 2/32.7 人 要介護 3/13.7 人 要介護 4/6.9 人 要介護 5/3.1 人）

##### ②介護予防居宅介護支援事業の実施

月平均利用者数 23.6 人（要支援 1/9.6 人 要支援 2/14.0 人）

##### ③要介護認定調査業務の受託 件数 5 件（北九州市 4 件、鹿児島県肝付町 1 件）

##### ④ケアマネミーティングの開催 回数 52 回 延べ参加者数 188 人

##### ⑤ケアマネ研修の実施 回数 11 回 延べ参加者数 39 人

#### (2) 訪問介護事業（嘉麻北訪問介護事業所・嘉麻南訪問介護事業所）

##### ①訪問介護事業の実施

嘉麻北訪問介護事業所 月平均利用者数 27.2 人 月平均サービス提供時間 358 時間 19 分 月平均利用回数 366.8 回

嘉麻南訪問介護事業所 月平均利用者数 23.5 人 月平均サービス提供時間 347 時間 04 分 月平均利用回数 333.4 回

##### ②介護予防訪問介護事業の実施

嘉麻北訪問介護事業所 月平均利用者数 20.9 人 月平均サービス提供時間 129 時間 07 分 月平均利用回数 126.7 回

嘉麻南訪問介護事業所 月平均利用者数 54.5 人 月平均サービス提供時間 376 時間 50 分 月平均利用回数 362.3 回

##### ③警察署の指導による交通安全教育の実施

実施年月日 平成 25 年 11 月 21 日(木) 参加者数/26 人

内容/・高齢者の事故について ・自転車の事故について ・嘉麻市で発生した人身事故について ・シートベルトの大切さについて  
・点滅信号で注意すること 講師 嘉麻警察署交通課 課長 村岡 善憲 氏

##### ④認知症サポーター養成講座の実施(嘉麻北・南訪問介護員合同研修として)

開催年月日 平成 25 年 6 月 27 日(木) 参加者数/31 人

内容/①認知症サポーター地域ネットづくり事業について ②認知症の理解について ③具体的対応における 7 つのポイントについて  
講師/嘉麻市高齢者介護課 課長補佐 金原 憲子 氏 会場/山田ふれあいハウス会議室

##### ⑤嘉麻北訪問介護事業所ミーティングの開催 回数 12 回 延べ参加者数 124 人

##### ⑥嘉麻南訪問介護事業所ミーティングの開催 回数 12 回 延べ参加者数 209 人

##### ⑦嘉麻北・南訪問介護員合同研修の実施 回数 11 回 延べ参加者数 290 人

#### (3) 認知症対応型共同生活介護事業（グループホームよかこの家）

##### ①認知症対応型共同生活介護事業の実施

月平均利用者数 4.6 人（要介護 1/0.2 人 要介護 2/3.4 人 要介護 3/0.8 人 要介護 4/0 人 要介護 5/0.2 人）

##### ②介護予防認知症対応型共同生活介護事業の実施

利用者数 0 人

##### ③季節に応じた行事の開催 回数 7 回 延べ参加者数 35 人

##### ④運営推進会議の開催 回数 6 回 延べ出席者数 37 人

##### ⑤利用者及び職員による避難訓練の実施 回数 10 回 延べ参加者数 76 人

#### (4) 認知症対応型通所介護事業（デイサービスよかこの家）

今年度は事業を休止していましたが、再開の目途が立たず、平成 26 年 3 月 31 日をもって事業を廃止しました。

#### 【参考】

##### 居宅介護支援事業

事業区分	分類項目	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減
介護給付	月平均利用者数（人）	100.5	109.2	△8.7
予防給付	月平均利用者数（人）	23.6	27.0	△3.4

##### 介護給付 訪問介護事業

事業所名	分類項目	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減
嘉麻北訪問介護事業所	月平均利用者数（人）	27.2	30.7	△3.5
	月平均サービス提供時間	358 時間 19 分	420 時間 00 分	△61 時間 41 分
	月平均延べ利用回数（回）	366.8	405.3	△38.5
嘉麻南訪問介護事業所	月平均利用者数（人）	23.5	28.8	△5.3
	月平均サービス提供時間	347 時間 01 分	418 時間 36 分	△71 時間 35 分
	月平均延べ利用回数（回）	334.4	411.7	△77.3

##### 予防給付 訪問介護事業

事業所名	分類項目	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減
嘉麻北訪問介護事業所	月平均利用者数（人）	20.9	27.0	△6.1
	月平均サービス提供時間	129 時間 07 分	181 時間 47 分	△52 時間 40 分
	月平均延べ利用回数（回）	126.7	176.6	△49.9
嘉麻南訪問介護事業所	月平均利用者数（人）	54.5	56.5	△2.0
	月平均サービス提供時間	376 時間 50 分	388 時間 24 分	△11 時間 34 分
	月平均延べ利用回数（回）	362.3	372.1	△9.8

##### 介護給付 認知症対応型共同生活介護事業

事業区分	分類項目	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減
介護給付	月平均利用者数（人）	4.6	4.4	0.2
予防給付	月平均利用者数（人）	0	0	0

## 2. 障害者自立支援事業の推進

### (1) 障がい者居宅介護事業

#### ① サービス提供実績

嘉麻北訪問介護事業所 月平均利用者数 5.6 人 月平均サービス提供時間 71 時間 20 分 月平均利用回数 58.3 回  
 嘉麻南訪問介護事業所 月平均利用者数 9.0 人 月平均サービス提供時間 171 時間 18 分 月平均利用回数 127.5 回

### (2) 障がい者同行援護事業

#### ① サービス提供実績

嘉麻北訪問介護事業所 月平均利用者数 1.0 人 月平均サービス提供時間 2 時間 05 分 月平均利用回数 1.2 回  
 嘉麻南訪問介護事業所 月平均利用者数 3.0 人 月平均サービス提供時間 31 時間 52 分 月平均利用回数 12.0 回

### (3) 障がい者移動支援事業

#### ① サービス提供実績

嘉麻北訪問介護事業所 月平均利用者数 0.9 人 月平均サービス提供時間 3 時間 30 分 月平均利用回数 1.6 回  
 嘉麻南訪問介護事業所 月平均利用者数 0 人 月平均サービス提供時間 0 時間 月平均利用回数 0 回

#### 【参考】

#### 障がい者居宅介護事業

事業所名	分類項目	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減
嘉麻北訪問介護事業所	月平均利用者数 (人)	5.6	6.8	△1.2
	月平均サービス提供時間	71 時間 20 分	82 時間 26 分	△11 時間 06 分
	月平均延べ利用回数 (回)	58.3	71.9	△13.6
嘉麻南訪問介護事業所	月平均利用者数 (人)	9.0	9.5	△0.5
	月平均サービス提供時間	171 時間 18 分	203 時間 30 分	△32 時間 12 分
	月平均延べ利用回数 (回)	127.5	142.3	△14.8

#### 同行援護事業

事業所名	分類項目	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減
嘉麻北訪問介護事業所	月平均利用者数 (人)	1.0	1.0	0
	月平均サービス提供時間	2 時間 05 分	54 分	1 時間 11 分
	月平均延べ利用回数 (回)	1.2	1.0	0.2
嘉麻南訪問介護事業所	月平均利用者数 (人)	3.0	2.0	1.0
	月平均サービス提供時間	31 時間 52 分	12 時間 51 分	19 時間 01 分
	月平均延べ利用回数 (回)	12.0	5.4	6.6

#### 移動支援事業

事業所名	分類項目	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減
嘉麻北訪問介護事業所	月平均利用者数 (人)	0.9	1.0	△0.1
	月平均サービス提供時間	3 時間 30 分	4 時間 00 分	△30 分
	月平均延べ利用回数 (回)	1.6	2.0	△0.4
嘉麻南訪問介護事業所	月平均利用者数 (人)	0	0.5	△0.5
	月平均サービス提供時間	0	3 時間 45 分	△3 時間 45 分
	月平均延べ利用回数 (回)	0	1.2	△1.2

## 受託事業管理運営部門

### ■ 具体的事業活動

#### 1. 受託事業の推進

##### (1) 配食サービス事業

###### ① 碓井、山田、嘉穂地区における配食サービスの実施

- ・実施日 365 日
- ・延べ利用者数 1,577 人 (普通食 1,439 人 特別食 138 人)
  - 内訳 碓井地区 398 人 (普通食 393 人 特別食 5 人)
  - 山田地区 758 人 (普通食 675 人 特別食 83 人)
  - 嘉穂地区 421 人 (普通食 371 人 特別食 50 人)
- ・延べ配食数 (夕食) 30,857 食 (普通食 29,760 食 特別食 1,097 食)
  - 内訳 碓井地区 7,728 食 (普通食 7,721 食 特別食 7 食)
  - 山田地区 16,067 食 (普通食 15,274 食 特別食 793 食)
  - 嘉穂地区 7,062 食 (普通食 6,765 食 特別食 297 食)
- ・一日平均配食数 84.5 食 (碓井地区 21.2 食 山田地区 44.0 食 嘉穂地区 19.3 食)
- ・朝食延べ提供数 1,471 食 (碓井地区 589 食 山田地区 478 食 嘉穂地区 404 食)

###### ② 豊富な献立と季節感のある夕食弁当の提供食欲増進につながる献立づくり

- ・赤飯の提供 12 回 (毎月 1 日) 季節の移り変わりが感じられる食事の提供 30 回

###### ③ 衛生管理の徹底

調理員の細菌検査 (赤痢・サルモネラ・大腸菌) を 12 回、ノロウイルス検査を 1 回 厨房内の害虫駆除を 2 回実施した。

##### (2) 高齢者生きがい活動支援通所事業

###### ① 嘉穂老人福祉センターでのデイサービスの実施

月平均開所日数 20.0 日 月平均利用者数 75.7 人 月平均延べ利用者数 254.8 人 一日平均利用者数 12.7 人

###### ② 季節に応じた行事の開催

回数 9 回 延べ参加者数 519 人

###### ③ 衛生管理の徹底

調理員の細菌検査 (赤痢・サルモネラ・大腸菌) を 12 回、ノロウイルス検査を 1 回実施した。

**(3)生活管理指導員派遣事業**

**①訪問介護員による家事援助サービスの提供状況**

嘉麻北訪問介護事業所 月平均利用者数 1.7人 月平均利用回数 6.4回 月平均サービス提供時間 6時間 25分

嘉麻南訪問介護事業所 月平均利用者数 2.7人 月平均利用回数 10.1回 月平均サービス提供時間 10時間 10分

**【参考】**

事業所名	分類項目	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減
配食サービス	延べ利用者数 (人)	1,577	1,634	△57
	普通食利用者数 (人)	1,439	1,634	△195
	特別食利用者数 (人)	138	0	138
	延べ配食数 (食)	30,857	32,042	△1,185
	普通食 (食)	29,760	32,042	△2,282
	特別食 (食)	1,097	0	1,097
	一日平均配食数 (食)	84.5	87.7	△3.2
嘉穂老人福祉センター でのデイサービス	朝食延べ提供数 (食)	1,471	0	1,471
	月平均利用者数 (人)	75.7	82.0	△6.3
	月平均延べ利用者数 (人)	254.8	273.8	△19.0
	月平均一日利用者数 (回)	12.7	13.7	△1.0

**生活管理指導員派遣事業**

事業所名	分類項目	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減
嘉麻北訪問介護事業所	月平均利用者数 (人)	1.7	0.5	1.2
	月平均延べ利用回数 (回)	6.4	1.5	4.9
	月平均サービス提供時間	6時間 25分	1時間 30分	4時間 55分
嘉麻南訪問介護事業所	月平均利用者数 (人)	2.7	3.6	△0.9
	月平均延べ利用回数 (回)	10.1	14.3	△4.2
	月平均サービス提供時間	10時間 10分	14時間 20分	△4時間 10分

**福祉施設等管理・経営部門**

**■具体的事業活動**

**1. 指定管理施設の管理・経営**

**(1)碓井千歳会館**

**①碓井千歳会館の管理及び利用促進**

開所日数 239日 延べ利用者数 608人 会議室延べ利用時間 108時間 利用料収入 23,250円

子育てリユースセンター利用実績 延べ利用者数 1,045人

**②焼物室、染物室の利用促進**

焼物室 利用日数 34日 延べ利用者数 287人 延べ利用時間 117時間 利用料収入 38,430円

染物室 利用日数 11日 延べ利用者数 32人 延べ利用時間 43時間 30分 利用料収入 26,000円

**③陶芸教室の開催**

開催年月日 平成 25 年 6 月 23 日 (日) 参加者数 10 人

内容／・陶芸作品の工程説明 ・作品 (皿・マグカップ) の成形 指導／琴平陶芸サークル

開催年月日 平成 25 年 7 月 7 日 (日) 参加者数 9 人

内容／・素焼きが終わった作品への絵付け 指導／琴平陶芸サークル

**④染物教室の開催**

開催年月日 平成 25 年 8 月 25 日 (日) 参加者数 10 人

内容／・たまねぎの皮や蘇芳の枝を煮出した染液で、絞りをかけながら白いハンカチを染める体験

講師／草木染め友の会 藤嶋 清美 氏

**⑤フリーマーケットの開催**

開催年月日 平成 25 年 10 月 13 日 (日) 来場者 243 人 出店 9 店

内容／・碓井千歳会館の駐車場で、フリーマーケットを開催しました。

・本会職員によるバザーの収益金 21,700 円は、赤い羽根共同募金として、福岡県共同募金嘉麻市支会に寄託しました。

**⑥防火訓練の実施** 2回 延べ参加者数 16人

**⑦敷地内樹木の剪定** 回数 1回 (井手グリーンサービス)

**⑧敷地内草刈りの実施** 回数 3回 (嘉麻・桂川シルバー人材センター及び本会職員)

**(2)山田ふれあいハウス**

**①山田ふれあいハウスの管理及び利用促進**

開所日数 354日 延べ利用者数 9,378人 公衆電話料金 2,710円

**②山田ふれあいハウス会議室の利用促進**

利用回数 52回 延べ利用者数 578人 延べ利用時間 222時間 30分 利用料収入 0円

**③ロビーの環境整備**

季節に応じた観葉植物を毎月入れ替えました。

**④絵画等の展示による利用促進**

展示期間 平成 25 年 5 月 1 日 (水) ～平成 25 年 8 月 30 日 (金) 平成 25 年 9 月 2 日 (月) ～平成 25 年 12 月 27 日 (金)

平成 26 年 1 月 6 日 (月) ～平成 26 年 3 月 31 日 (月)

展示品 水彩画愛好会から借用した作品

**⑤ふれあいコンサートの実施**

実施年月日 平成 25 年 7 月 27 日 (土) 来場者数 65 人 内容／第 1 部ダンスパフォーマンス 第 2 部歌謡曲などの演奏

演奏／音楽アート PEANUTS

実施年月日 平成 25 年 12 月 21 日 (土) 来場者数 56 人

内容／第 1 部トウインクルキャッツの演奏 第 2 部古賀 稲子さん、中西 智子さんによる演奏

**⑥防火訓練の実施** 2回 参加者数 33人

**⑦敷地内の草刈りの実施** 回数 3回 (嘉麻・桂川シルバー人材センター及び職員)

⑧敷地内の樹木消毒の実施 回数1回（林田筑豊園）

⑨敷地内の樹木剪定の実施 回数1回（井手グリーンサービス）

【参考】

事業所名	分類項目	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減	
碓井千歳会館	開所日数（日）	239	251	△12	
	延べ利用者数（人）	608	700	△92	
	会議室延べ利用時間	108 時間 00 分	112 時間 30 分	△4 時間 30 分	
	焼 物 室	開所日数（日）	34	45	△11
		延べ利用者数（人）	287	394	△107
		延べ利用時間	117 時間 00 分	182 時間 00 分	△65 時間 00 分
	染 物 室	開所日数（日）	11	1	10
		延べ利用者数（人）	32	18	14
		延べ利用時間	43 時間 30 分	4 時間 30 分	39 時間 00 分
山田ふれあいハウス	開所日数（日）	354	354	0	
	延べ利用者数（人）	9,956	8,304	1,652	
		ロビー等利用者数（人）	9,378	7,741	1,637
		会議室利用者数（人）	578	563	15
	会議室利用回数（回）	52	49	3	
	会議室延べ利用時間	222 時間 30 分	217 時間 00 分	5 時間 30 分	